

TEAM MYODEN



市川市立妙典中学校 令和5年度生徒指導だより第3号 6月5日

教育目標：未来を拓く妙典中生徒<明るく・正しく・美しく>

目指す生徒：◎ふれあいを大切にする生徒 ◎進んで学ぶ生徒 ◎頑張りぬく生徒



◎公共のマナーと思いやりの心



今回は公共の場でのマナーについてお話をしたいと思います。皆さん「マナー」という言葉の意味を知っていますか？「ルール」ではありません。「マナー」です。マナーとは「人と人との関わりで、当然その場面でしかるべきとされる行儀・作法のことを指す。」(ウィキペディアより引用)とされています。では公共のマナーとはどういう意味でしょうか？公共のマナーとは「不特定多数の人が使う場所での、他の人への配慮」を指します。学校も公共の場のひとつですが、学校外での公共の場はさらなる対応力が必要となります。

妙典中学校ではみなさんが気持ちよく、毎日を過ごすための「1日の生活」というルールがあります。そこにはマナーに関しては記載していません。マナーに関して触れると数えきれないですし、記載しなくても妙典中の生徒は意識ができると信じているからです。

では、マナーを意識しようという心を育てるためにはどういったことが必要になってくるのでしょうか？それは「想像力」を育むことです。「自分の行動を周囲の人はどう感じるだろうか？」「自分自身は平気でも、その行動によって、もしかしたら周囲の人は不快を感じるかもしれない。」「自分がこのように行動すれば、周囲の人も気持ちよく生活できるだろうか。」そういった心くばりが想像力を育みます。そのためには相手の気持ちを考えたり、心に寄り添うなどの「思いやりの心」を常に持ち続けることが大切です。休み時間や昼休みの教室や廊下での過ごし方であったり、多くの人との関わりの中でほんの少しでも周囲の人の気持ちを考えるだけでマナーを意識しようという心は育ちます。妙典中生のみなさんのさらなる心の成長を願います。

先日修学旅行において3年生の公共のマナーは大変素晴らしかったです。朝の通勤電車や、東京駅構内に人がたくさんいる中で、引率の先生方に指摘される前に「ここにいると人が通れないからもう少しこっちに寄って！」「ここにいると通る人の邪魔になっちゃうよ！こっち空いてるから来て大丈夫だよ！」などといった声かけが3年生の生徒の皆さんの中でされていました。また、泊目のホテル内において、荷物をたくさん持っている従業員の方にエレベーターを開けて待ってあげている生徒や、電車内に落ちているごみを拾っている生徒もいました。思いやりの心を持った3年生の姿がたくさん見られ、温かい気持ちになりました。

修学旅行当日や校外学習当日だけではなく日頃からの意識の積み重ねが公共の場におけるマナーある行動につながります。普段から思いやりの心を持ち、公共のマナーを意識しながら生活していきましょう。



◎落とし物BOX

職員室前のロッカーに落とし物BOXがいっぱいになってきました。6月中旬(14日ごろ)に4月のものは処分していきたいと思います。心当たりのある落とし物がありましたら 安永までお願いします。



◎熱中症対策について

生徒総会の各クラスの提案・要望の中で、「夏の体操服のシャツ出しを可にしてほしい。」という意見が出たようです。今年度も熱中症対策として気温や湿度に応じて学校からシャツ出しの許可を出す予定です。